

人権と安全安心まちづくり・犯罪被害者等支援に関するアンケート(報告)

アンケート概要

- 1 実施期間 令和2年11月13日～11月26日
- 2 対象者数 952人
- 3 回答数 564人
- 4 回答率 59.2%
- 5 回答者属性

【年代別】

	10～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数	31人	114人	146人	123人	102人	48人
構成比	5.5%	20.2%	25.9%	21.8%	18.1%	8.5%

【地域別】

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	268人	165人	67人	52人	12人
構成比	47.5%	29.3%	11.9%	9.2%	2.1%

北勢…………… 四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢……… 津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩… 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

伊賀…………… 名張市、伊賀市

東紀州……… 尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

アンケート結果の概要

Q1 人権に関する知識（複数回答）

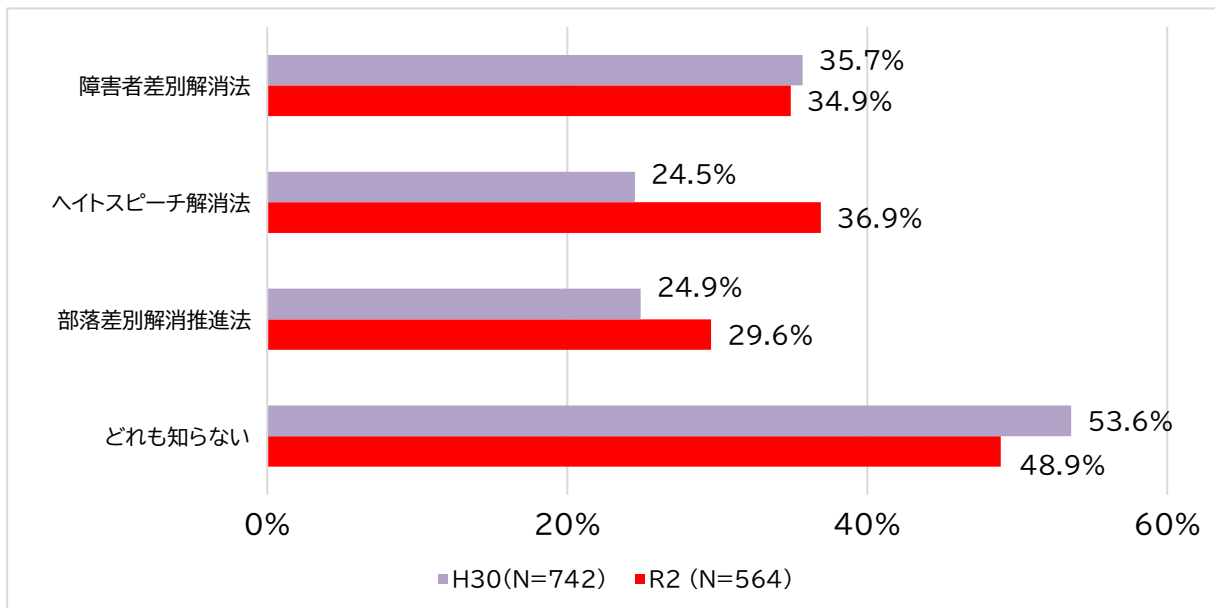
差別をなくし、人権が尊重される社会をつくるため、平成28年に「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」の3つの法律が施行されました。これらの法律を知っていますか。

障害者差別解消法	ヘイトスピーチ解消法	部落差別解消推進法	どれも知らない
34.9%	36.9%	29.6%	48.9%

平成28年施行の「差別解消三法」の認知度は、それぞれ、「障害者差別解消法」は34.9%、「ヘイトスピーチ解消法」は36.9%、「部落差別解消推進法」は29.6%でした。

「どれも知らない」は48.9%でした。

【参考】経年変化

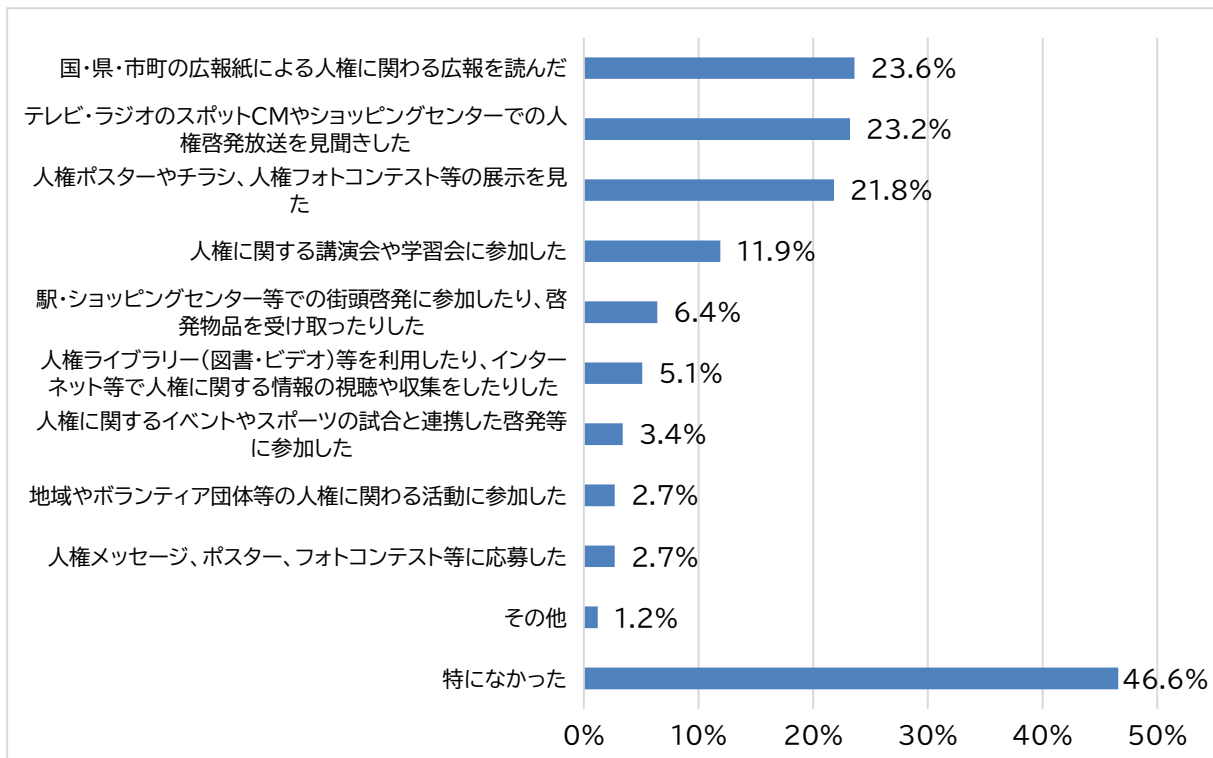


平成30年に実施した調査との経年変化は、「障害者差別解消法」では大きな差は見られませんが、「ヘイトスピーチ解消法」は12.4ポイント、「部落差別解消推進法」は4.7ポイント「知っている」が増えました。

「どれも知らない」は4.7ポイント減りました。

Q2 人権啓発・人権学習の機会について！（複数回答）

最近1年間で、人権に関する啓発等について、見たり、聞いたり、人権に関して学んだ機会がありましたか（職場や学校での参加も含みます）。



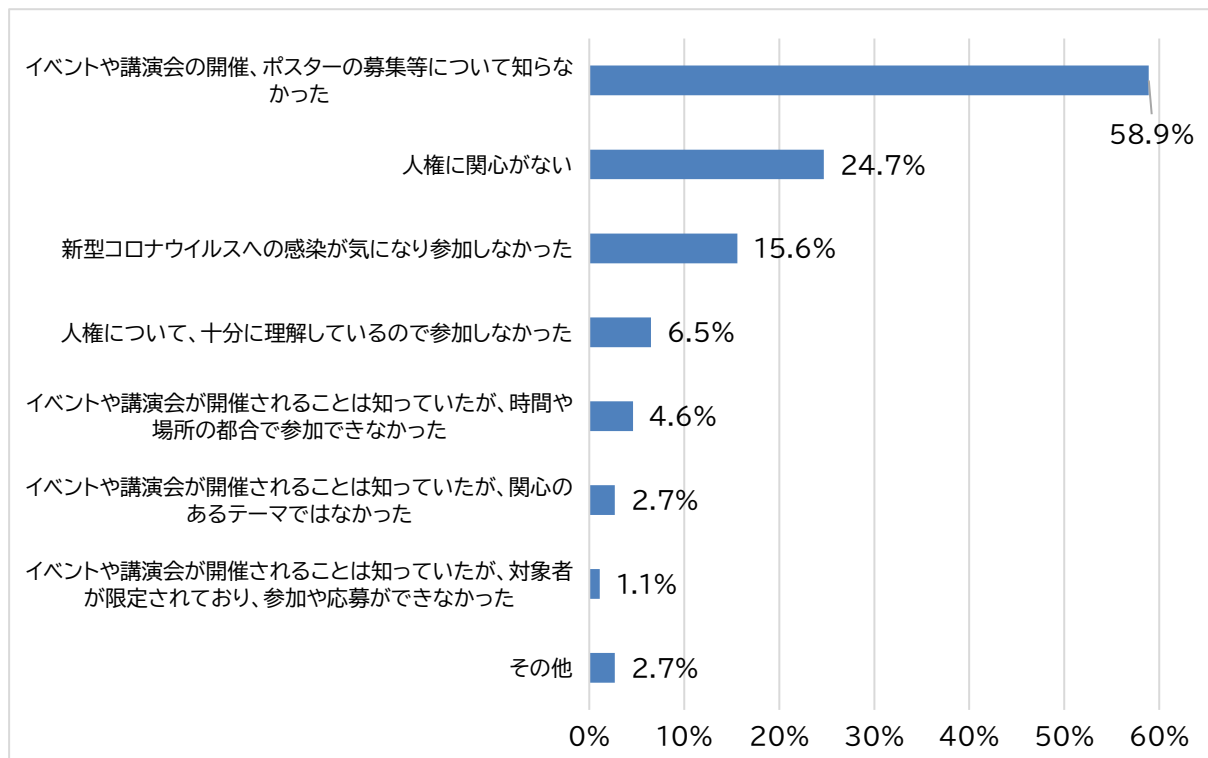
最近1年間で人権に関する啓発等について見たり、聞いたり、人権に関して学んだ機会があったかについて聞いたところ、「国・県・市町の広報紙による人権に関わる広報を読んだ」が23.6%、「テレビ・ラジオのスポットCMやショッピングセンターでの人権啓発放送を見聞きした」が23.2%、「人権ポスターやチラシ、人権フォトコンテスト等の展示を見た」が21.8%などでした。

「その他」には、「学校の授業」「社内報で見た」「職場で研修を受けた」「保育士のテキストで学んだ」などがありました。

「特になかった」は46.6%でした。

Q3 人権啓発・人権学習の機会について2 (複数回答)

「特になかった」理由について、あてはまるものをすべて選んでください。



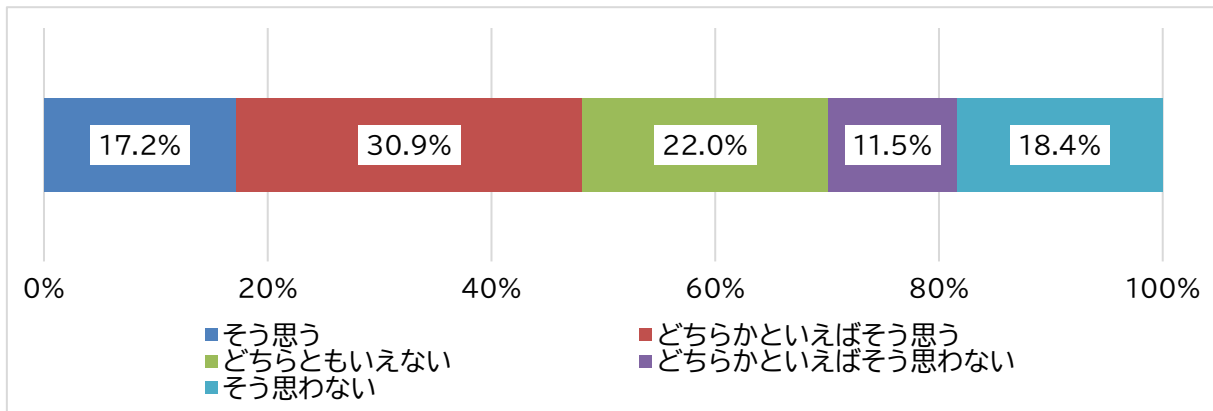
「人権学習の機会が特になかった」と回答した方にその理由を聞いたところ、「イベントや講演会の開催、ポスターの募集等について知らなかった」が58.9%、「人権に関心がない」が24.7%、「新型コロナウイルスへの感染が気になり参加しなかった」が15.6%、「人権について、十分に理解しているので参加しなかった」が6.5%などでした。

「イベントや講演会が開催されることは知っていた」方で「時間や場所の都合で参加できなかった」が4.6%、「関心のあるテーマではなかった」が2.7%、「対象者が限定されており、参加や応募ができなかった」が1.1%でした。

「その他」の2.7%には、「極力外には出なかった」「人権に関心がないわけではないが参加しなかった」「定年退職して8年になるので、なかなかそんな機会にめぐりあえない」などがありました。

Q4 今日的な人権問題について 1

あなたは、自分が新型コロナウイルスに感染した場合、そのことは秘密にしておきたいと思いますか。

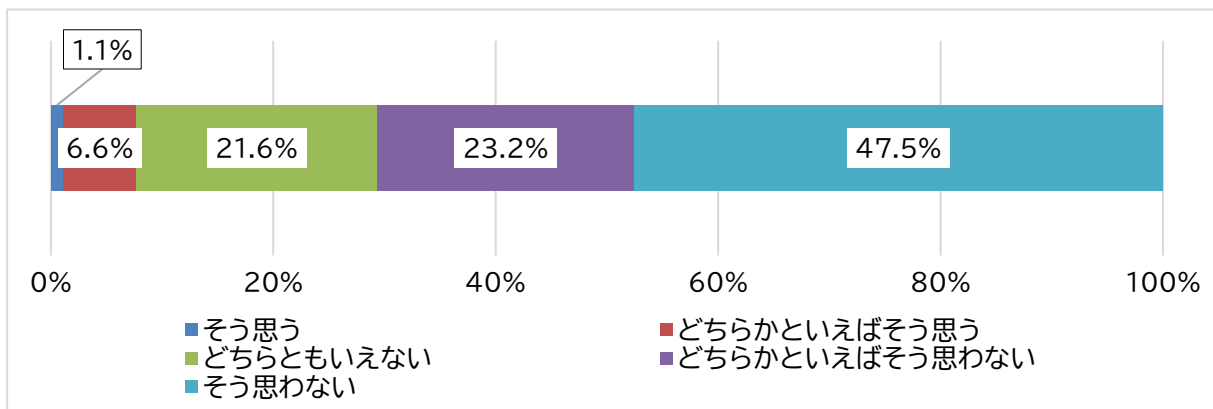


自分が新型コロナウイルスに感染した場合、そのことを秘密にしておきたいかを聞いたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると48.1%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせると29.9%でした。

「どちらともいえない」は22.0%でした。

Q5 今日的な人権問題について 2

あなたは、新型コロナウイルスに感染した人や家族が非難されるのはやむをえないと思いますか。

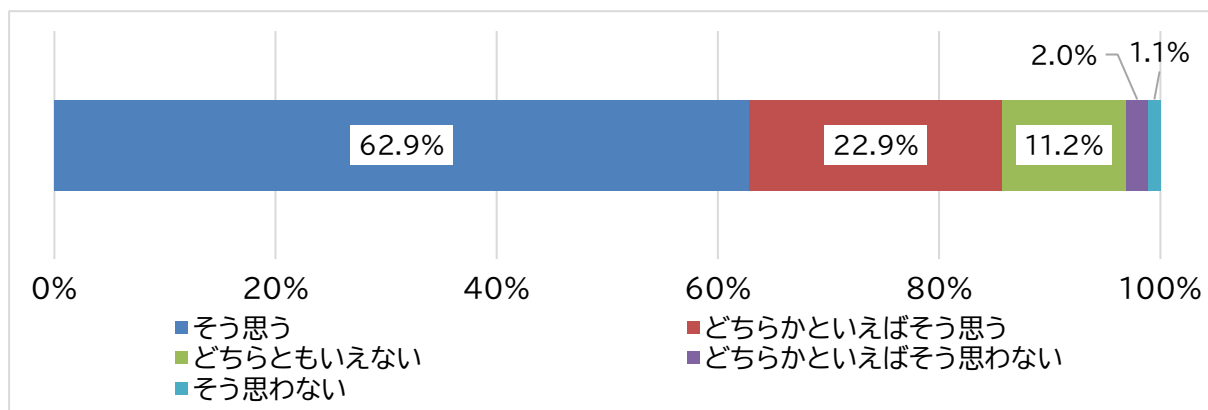


新型コロナウイルスに感染した人や家族が非難されるのはやむをえないと思うかを聞いたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると7.7%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせると70.7%でした。

「どちらともいえない」は21.6%でした。

Q6 今日のな人権問題について 3

あなたは、友人が新型コロナウイルスにかかったあと、回復したことがわかった場合、これまでと同じようにつき合っていけると思いますか。

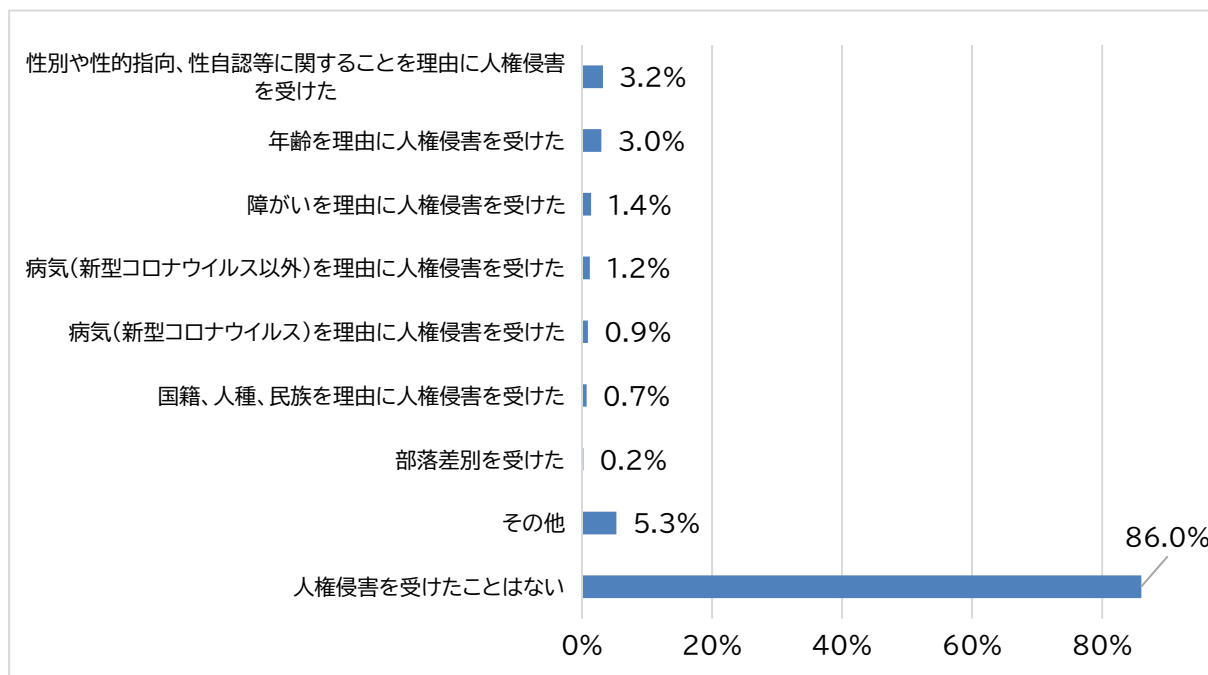


友人が新型コロナウイルスにかかったあと、回復したことがわかった場合、これまでと同じようにつき合っていけると思うかを聞いたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると85.8%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせると3.1%でした。

「どちらともいえない」は11.2%でした。

Q7 人権侵害について1 (複数回答)

あなたは最近1年間で、以下の差別待遇等の人権侵害を受けた(受けたと感じた)ことがありましたか。



最近1年間で差別待遇等の人権侵害を受けた(受けたと感じた)ことがあったかを聞いたところ、「性別や性的指向、性自認等に関することを理由に人権侵害を受けた」が3.2%、「年齢を理由に人権侵害を受けた」が3.0%、「障がいを理由に人権侵害を受けた」が1.4%など

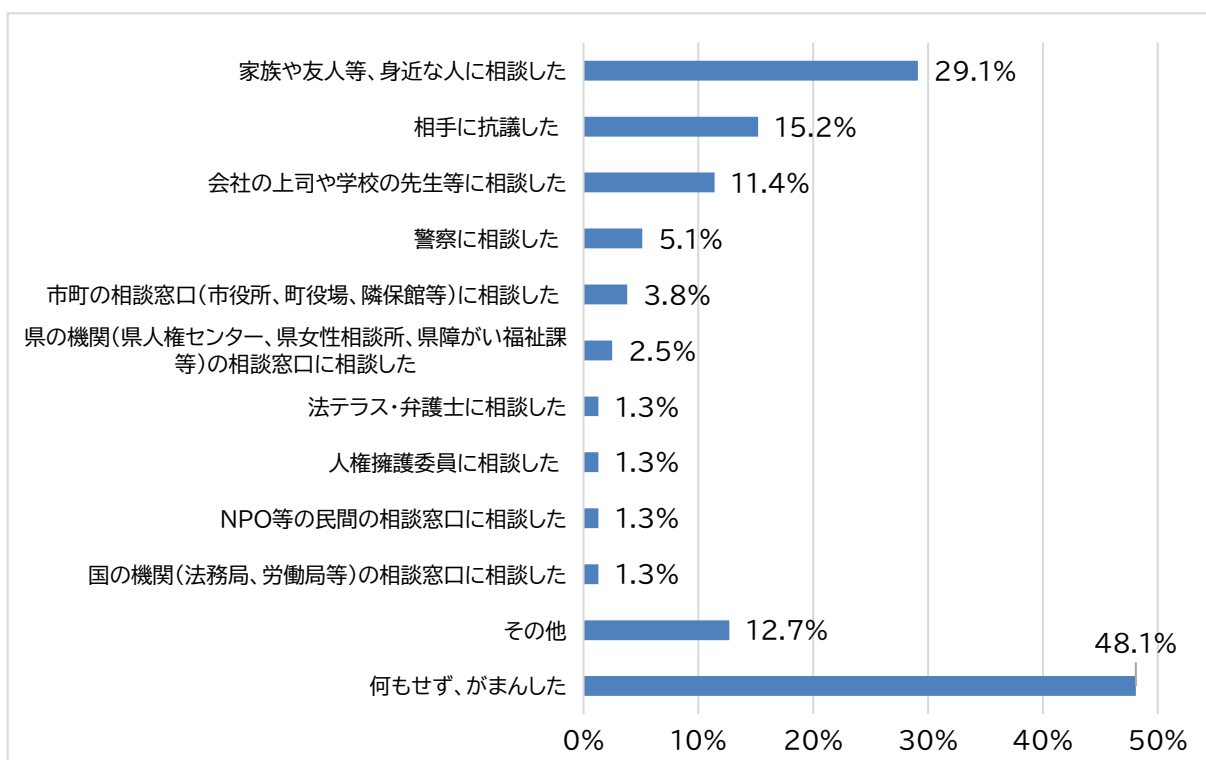
の順でした。

「その他」には、「インターネット、SNSでの人権侵害」「パワハラ」「ひきこもり」「医療職であることで近所の人から避けられた」「家族が新型コロナウイルス感染症の治療に当たっていることで差別を感じた」「考え方が他の人と異なることを理由に差別を受けた」「妊娠を理由に人権侵害された」などがありました。

「人権侵害を受けたことはない」は86.0%でした。

Q8 人権侵害について2 (複数回答)

人権侵害を受けた(受けたと感じた)時、どのように対応しましたか。



「人権侵害を受けた(受けたと感じた)時、どのように対応したかを聞いたところ、「家族や友人等、身近な人に相談した」が29.1%、「相手に抗議した」が15.2%、「会社の上司や学校の先生等に相談した」が11.4%などでした。

「その他」には、「日本はそういう社会だと認識している」「SNSで愚痴を吐いた」「流した」などがありました。

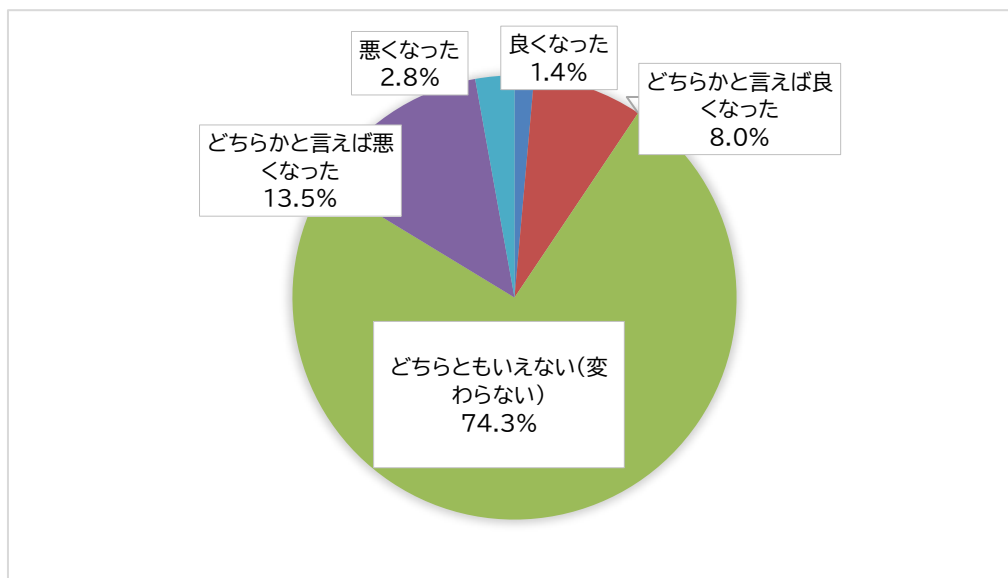
「何もせず、がまんした」は48.1%でした。

いじめや差別、新型コロナウイルス感染症に関する偏見・差別等を受けて困っている場合、三重県人権センター等公的な機関でご相談を受けています。連絡先等は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/JINKENC/HP/38043032182.htm>

Q9 治安について

あなたの住む地域では、3年前と比較して、治安はどのようになったと思いますか。

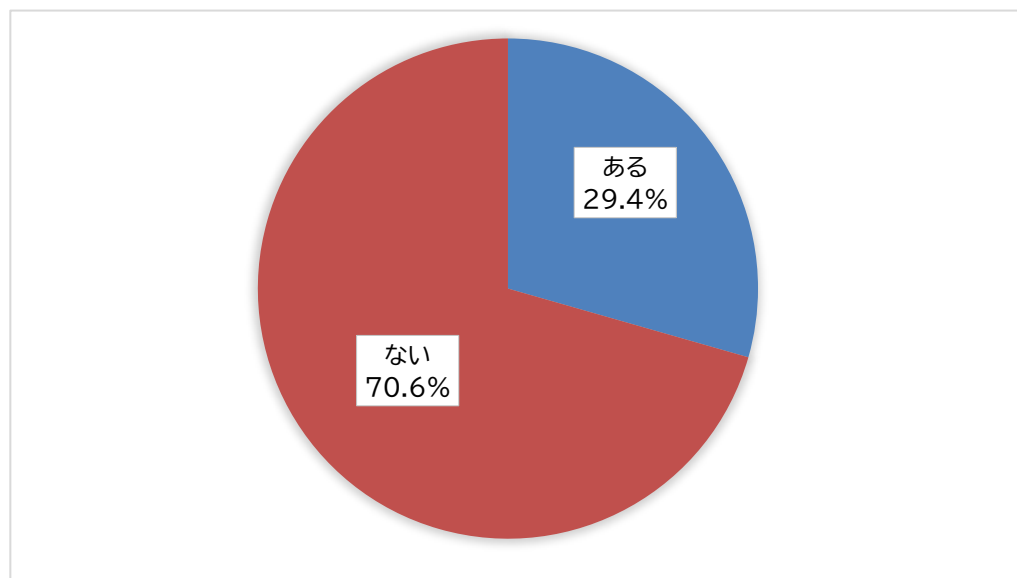


居住する地域で、3年前と比較して、治安はどのようになったかを聞いたところ、「良くなった」「どちらかと言えば良くなった」を合わせると9.4%、「どちらかと言えば悪くなった」「悪くなった」を合わせると16.3%でした。

「どちらともいえない」は74.3%でした。

Q10 防犯・交通安全活動について

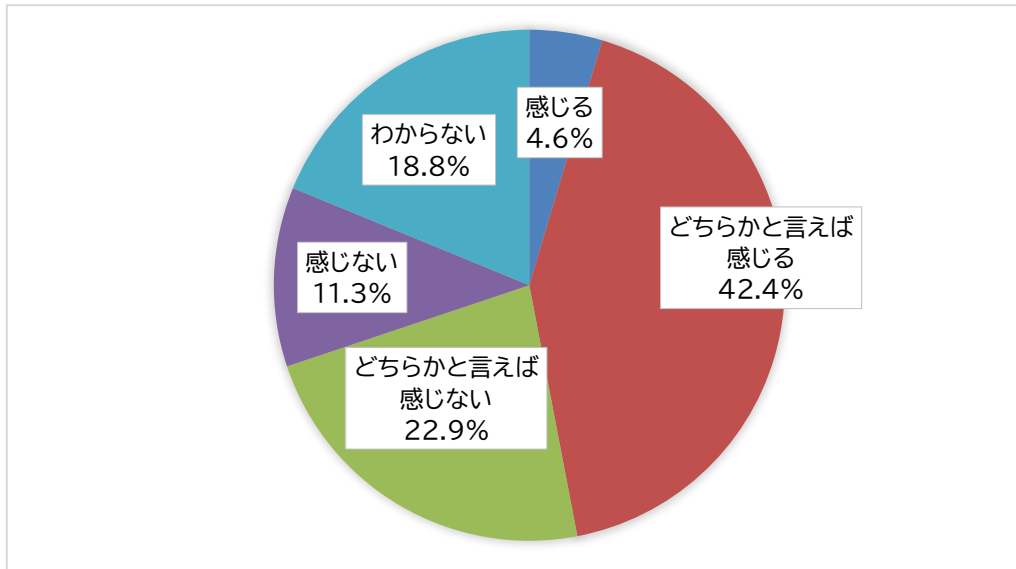
あなたは、地域で行われている防犯・交通安全活動に参加したことはありますか。



地域で行われている防犯・交通安全活動に参加したことはあるかを聞いたところ、「ある」が29.4%、「ない」が70.6%でした。

Q11 子どもの犯罪被害について

あなたは、地域の中で、「子ども」が犯罪被害から守られていると感じますか。

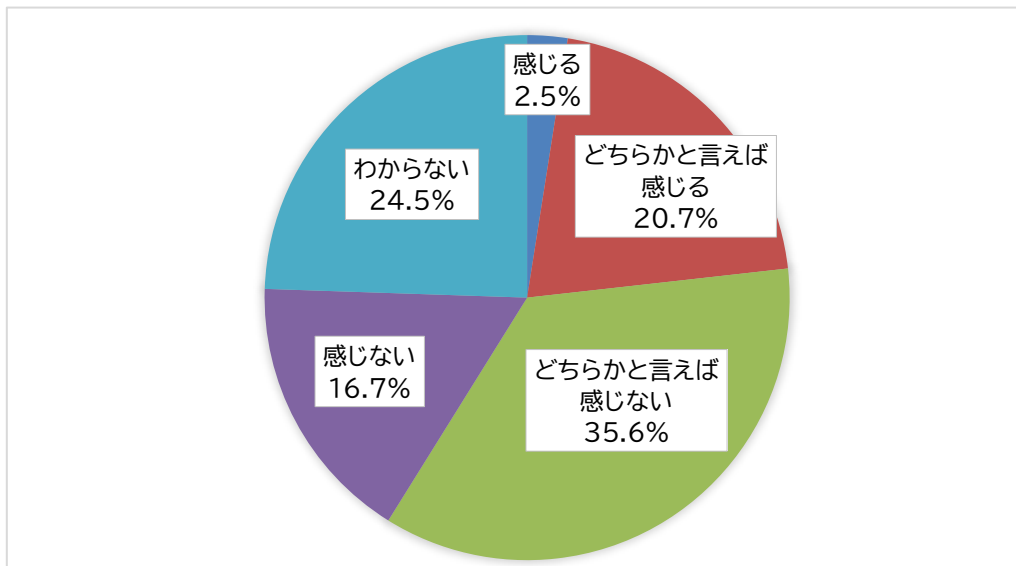


地域の中で、「子ども」が犯罪被害から守られていると感じるかを聞いたところ、「感じる」「どちらかと言えば感じる」を合わせると 47.0%、「どちらかと言えば感じない」「感じない」を合わせると 34.2%でした。

「わからない」は 18.8%でした。

Q12 女性の犯罪被害について

あなたは、地域の中で、「女性」が犯罪被害から守られていると感じますか。

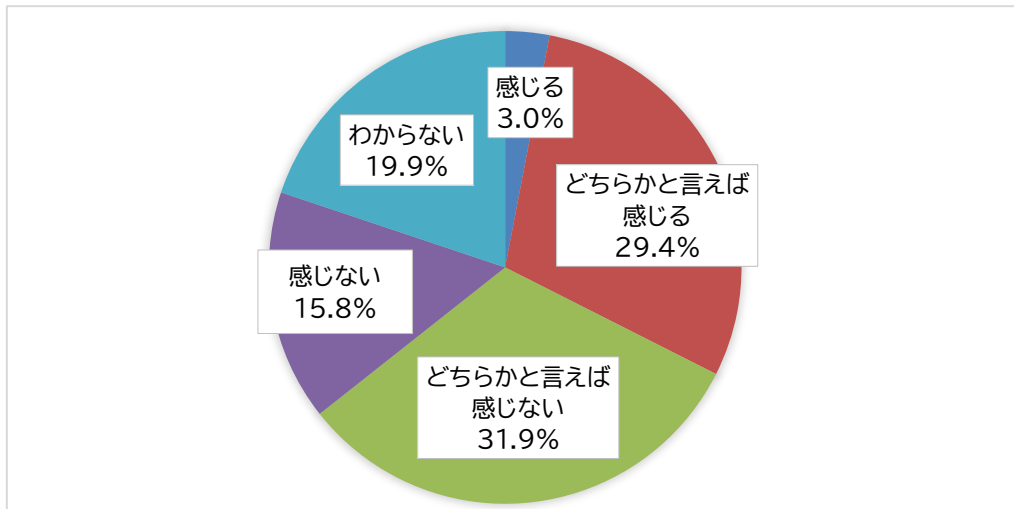


地域の中で、「女性」が犯罪被害から守られていると感じるかを聞いたところ、「感じる」「どちらかと言えば感じる」を合わせると 23.2%、「どちらかと言えば感じない」「感じない」を合わせると 52.3%でした。

「わからない」は 24.5%でした。

Q13 高齢者の犯罪被害について

あなたは、地域の中で、「高齢者」が犯罪被害から守られていると感じますか。



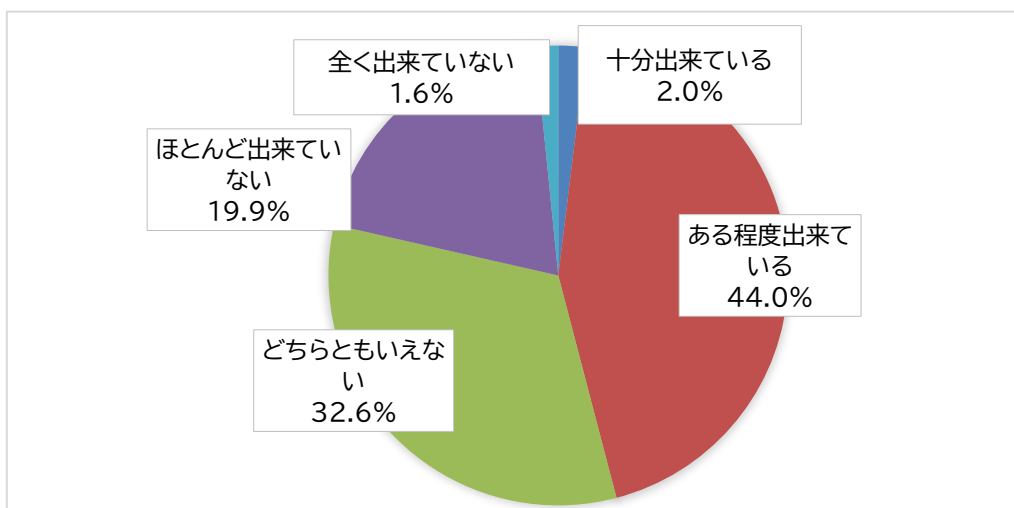
地域の中で、「高齢者」が犯罪被害から守られていると感じるかを聞いたところ、「感じる」「どちらかと言えば感じる」を合わせると 32.4%、「どちらかと言えば感じない」「感じない」を合わせると 47.7%でした。

「わからない」は 19.9%でした。

Q14 犯罪への対策について

あなたは、自身や家族が「近年、県内で多発する犯罪等」（空き巣、忍込み、自動車盗、車上ねらい、部品ねらい、自転車盗、特殊詐欺※）に遭わないような対策（日頃の備えや心掛け等）が出来ていると感じますか。

※特殊詐欺……振り込め詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金等詐欺等）とそれに類似する手口による詐欺のこと

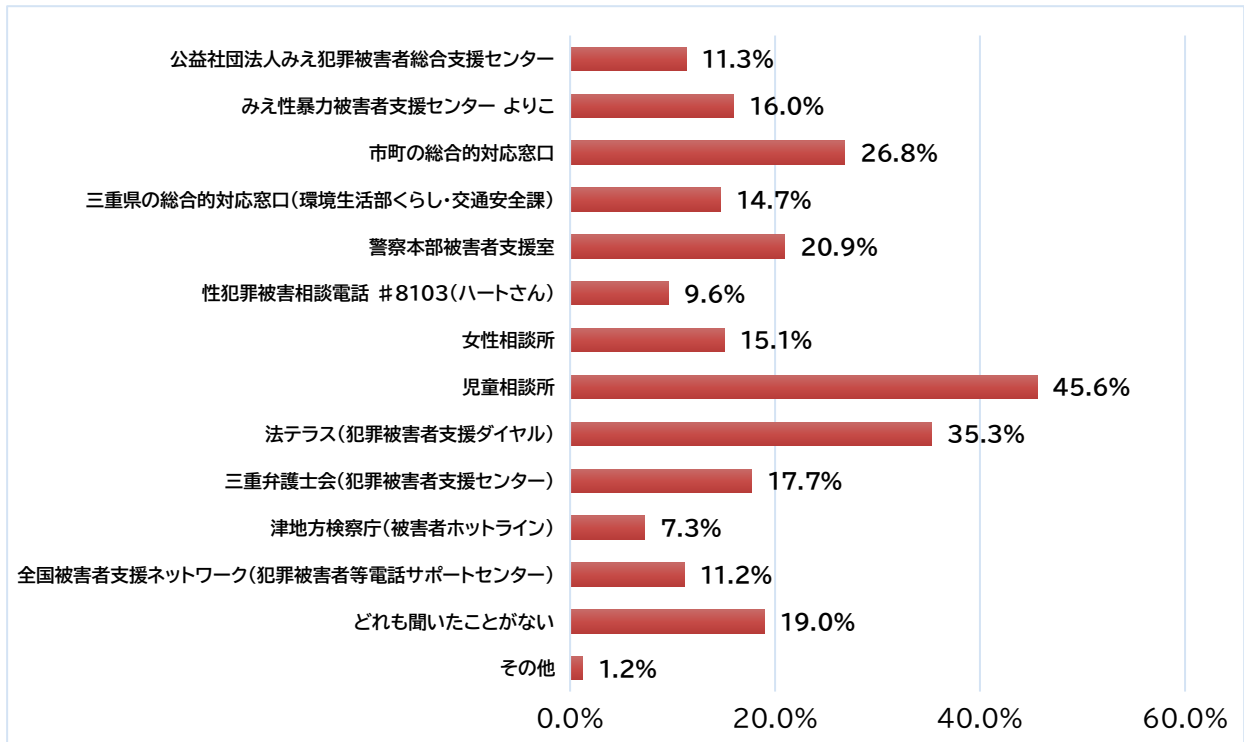


自身や家族が「近年、県内で多発する犯罪等」に遭わないような対策が出来ていると感じるかを聞いたところ、「十分出来ている」「ある程度出来ている」を合わせると 46.0%、「ほとんど出来ていない」「全く出来ていない」を合わせると 21.5%でした。

「どちらともいえない」は 32.6%でした。

Q15 犯罪被害者等支援の相談窓口について

あなたが知っている犯罪被害者等支援の相談窓口はどれですか。知っているものすべてを選んでください。



知っている犯罪被害者等支援の相談窓口について聞いたところ、みえ性暴力被害者支援センター よりこが16.0%、公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センターが11.3%などでした。また、どれも聞いたことがないは19.0%でした。

今後も、犯罪被害者等支援の相談窓口等の周知に努めていきます。